



ニュースリリース

2017年 8月 3日

新日鉄住金エンジニアリング株式会社

(株)安川電機「行橋事業所豊和会館」新築工事の着工について

新日鉄住金エンジニアリング株式会社（代表取締役社長：藤原 真一、本社：東京都品川区、以下「当社」）は、このたび、福岡県行橋市において株式会社安川電機（代表取締役社長：小笠原 浩、本社：福岡県北九州市）より受注した「行橋事業所豊和会館」（以下「本施設」）の建設工事に着手いたしました。

本施設は、鉄骨造地上3階建ての厚生棟および鉄骨造地上1階建ての食堂棟の2棟で構成され、延床面積 4,922㎡の厚生施設となります。

本施設の構成は、1階に食堂・厨房、売店、旅行会社、2階に診療スペースを配置し、行橋事業所の社員 2,000人の健康を守る施設となります。また、3階にはグループ会社の事務所を配置しております。

本施設の建設計画は、厚生施設としての「機能性・利便性・経済性」を考慮し、施設利便性を向上させる柱スパンの採用、鉄骨重量を低減する最適化設計の適用の他、屋根・外壁材に高耐候性の SGL 鋼板[※]を採用し、省エネ対策を図りました。また食堂は、明るく開放的な空間を実現し、各種イベントを開催できる機能も兼ね備えております。

新日鉄住金グループの一員として、鋼構造分野に大きな強みを持つ当社は、産業建築分野を得意領域の一つとして、実績を積み重ねております。引き続き、鋼構造エンジニアリング力と鉄の知見を活かした商品・技術の提供を通じ、安心・安全な社会の実現に貢献してまいります。

※SGL 鋼板(エスジーエル鋼板)：ガルバリウム鋼板の3倍の耐候性を保有する鋼板。

【プレスリリース(報道)に関するお問い合わせ先】

CSR・広報部 広報室 03-6665-2366

以上